# 宇品の港から平和と国際交流の輪をつくる

**被爆地の夏に亡き人々を悼み平和を願う「ひろしま盆ダンス」が8月13、14の両日、広島市南区宇品海岸の広島みなと公園で開かれる。原爆で壊滅の翌1946年、廃虚の基町（現中区）であった「戦災供養盆踊り大会」を72年ぶりに新たな装いで復活させ、翌年も旧市民球場跡地で行われたが、新型コロナウイルスの感染拡大から中断。3年ぶりの再開は、同跡地が再整備にあるため会場を移し、感染予防を図って実施する。**

1902年撮影の宇品港全景。中央が軍用桟橋で西側壁が現在の宇品波止場公園に残る。左端に写る水上警察署は09年に建て替えられ被爆建物としても現存する（宮内庁宮内公文書館所蔵の画像を合成）

旧宇品港に始まる一帯は、日本近現代史の歩みが刻み込まれた地でもある。元薩摩藩士で県令（知事）に就いた千田貞暁が奔走して1889年に開港した。94年の日清戦争の直前に山陽鉄道が広島駅まで開通し、直後には宇品港と結ぶ軍用鉄道（後の宇品線）が敷かれて出兵基地となり、大本営は基町の広島城跡に置かれた。

日本の兵員輸送の拠点となった「宇品軍用地」。その全景を1902年に収めたパノラマ写真が宮内庁に残されている。日露戦争の立案計画に当たった児玉源太郎が開戦前年の03年、明治天皇に献上していた。

軍用桟橋を中心に、日本統治の台湾から宇品に02年本廠（しょう）が移管された台湾陸軍補給廠（04年廃止、陸軍運輸部を設置）をはじめ陸軍糧秣（りょうまつ）廠宇品支廠、倉庫群などが見える。

宇品港は32年に広島港と改称し港域を拡大。37年からの日中戦争で大陸への兵たん基地となり、兵士を歓送迎する宇品凱旋（がいせん）館が39年に完成する。鉄筋3階で現在の宇品中央公園にあった。41年の日米開戦後は船舶部隊を統括指揮する陸軍船舶司令部が入っていた。

45年8月6日、司令部前の広場で被爆したのが情報班1等兵だった、丸山真男だ。「市民が三々五々入ってきました／着物はぼろぼろ／海辺までずっと広場なんですけれども、ここがいっぱいになった」。戦後日本を代表した政治学者が69年に中国新聞記者へ語った録音テープは、遺族が広島大文書館へ寄贈している。

爆心地から約4・6キロ、甚大な被害を免れた司令部は午前8時50分、「患者ヲ似島ニ護送スルト共ニ／主力ヲ以テ京橋川ニ遡（そこう）江シ…」（「船防作命第一号」＝防衛省所蔵）と発し、各部隊が救援や消火を始める。宇品線の南段原―宇品駅間では臨時列車が3往復し、当日だけで負傷者約3千人を凱旋館に収容した（「広島原爆戦災誌」第3巻）。

終戦後は政府の指令で宇品引揚援護局が置かれ、47年末の閉局までに戦地や外地から身一つで戻る約16万9千人を取り扱った。

広島港は48年に貿易港として開港指定を受け53年、県が港湾管理者に。宇品外貿埠（ふとう）頭（1万トンバース）改修事業は88年に完工し、この間、港区埋め立てで出島地区などもできた。

さらに2003年、広島港宇品旅客ターミナルが完成。広島高速3号線（南道路）の開通もあり、付近には大型の商業施設やマンションが登場する。

8月に「ひろしま盆ダンス」の会場となる広島みなと公園（中央）。右側は広島港宇品旅客ターミナルと広島港電停、奥は宇品島

今夏の「ひろしま盆ダンス」には、江戸期の所作を受け継ぐ似島の盆踊りや、明治から伝わる宇品踊りも参加する。周辺を歩けば、軍用桟橋の西側壁や、市内に唯一現存する明治の木造洋風建築で被爆建物の旧水上警察署、86年廃線の旧国鉄宇品線の名残に気づくだろう。ヒロシマを巡る歩みが宇品には息づいている。（敬称略）

踊りの輪が幾重にも広がった2019年の「ひろしま盆ダンス」

## 移民が伝えた日本の文化 ハワイに根付く

盆踊りは海外の日系社会でも根付き、世代や人種を超えて親しまれている。とりわけ米国ハワイでは「Bon Dance（盆ダンス）」と呼ばれ、先祖ゆかりの地にちなむ各クラブもあるほどだ。

広島市とハワイ州の州都ホノルル市が姉妹都市（提携は1959年）にあるように、その長くて深いつながりは明治の「官約移民」までさかのぼる。

明治政府が当時のハワイ王国に送った官約移民は1885年に始まり、94年6月までに26回を数えた。外務省外交史料館所蔵の記録によると、広島県からは計1万1125人（うち女性は2115人）が渡り、全国最多の約38％に上った。県西部沿岸部や太田川流域からの移民が多数を占めた。

背景には、深刻な農村不況のうえに干害、広島湾岸を襲った暴風雨による農作物被害があった。また、宇品築港と新開地造りから、漁業・養殖の場を追われる人も少なくなかった。

ハワイに渡った移民は、サトウキビ耕地で原則3年間の契約労働に従事する。男性は1カ月6ドル、妻には4ドルが支給されるはずだったが、言語をはじめ生活習慣・文化の壁もあり、紛争が絶えなかった。

オアフ島で2018年に催されたBon Dance
（ハワイ移民資料館仁保島村撮影・提供）

官約移民が終わると、民間の各取り扱い業者が広島に事務所を置き「私約移民」を募って送り出した。1900年に契約移民が禁止されてからは、渡航費を自己負担したり、業者があっせんしたりする「自由移民」として続いた。

1世たちは苦闘しながら仏教寺院やハワイ生まれの子どもたちの日本語学校を設け、日系コミュニティーの礎を築いていく。1930年にはハワイ総人口約36万のうち、日系人は38％を数えていた。

日本軍の真珠湾攻撃に始まる日米戦争の間、ハワイ日系社会は重苦しさに覆われる。しかし、50年代に入って日本語学校が復活するなどコミュニティーの活動が本格化する。各仏教寺院や公園を会場とする盆踊りも盛んとなった。

今では6月から9月にかけての毎週末「Bon Dance」が各地で開かれ、参加者が踊りの輪をつくって気軽に楽しむ。「太鼓のリズムがハワイのそれと似ているので受け入れられやすかったのだろう。人種や宗教に関係なく浴衣を着て踊るさまからは文化の融合を感じました」。南区にある「ハワイ移民資料館仁保島村」の川崎壽館長は現地を訪れ、その熱気ぶりも肌で知る。

ハワイの雄大な自然の中で育まれた伝統と融合した「Bon Dance」は、文化や思いを異にする人たちをつなぐ場にもなっている。国際平和文化都市・広島の地で開催される「ひろしま盆ダンス」も、交流の輪が熱気とともに広がるだろう。

企画・制作／中国新聞社地域ビジネス局

主催／中国新聞社　共催／広島市
後援／広島県、広島県教育委員会、広島商工会議所、広島青年会議所、広島県観光連盟、公益財団法人広島観光コンベンションビューロー、宇品西地区社会福祉協議会、宇品東社会福祉協議会、元宇品地区社会福祉協議会、広島県民踊協会、NPO法人環境保全創生委員会、中国放送、広島テレビ放送、広島ホームテレビ、テレビ新広島、広島エフエム放送、FMちゅーピー76.6MHz、ちゅピCOM　など（予定・順不同）

**新型コロナウイルス感染予防・拡大防止にご協力お願いいたします。** 安心・安全のために定期的な清掃・消毒等実施しております。
【ご入場に際して】新型コロナウイルス感染予防・拡大防止のため、マスク等を着用してご来場ください。スマートフォンをお持ちの方はご入場時に「広島コロナお知らせQR」をご登録ください。

ひろしま盆ダンス 公式サイトはこちら▶

【お問い合わせ】中国新聞社地域ビジネス局 〒730-8677 広島市中区土橋町7-1 TEL.082-236-2211（平日9:30~17:30）　https://hiroshima-bon-dance.jp/　ひろしま盆ダンス 検索

洋服の青山　asta　ちゅーピー　HIS　SOGO そごう広島店　進物の大進　学校法人鶴学園　株式会社日東リバティ　エールエールA館　福山通運　大和ミュージアム
炙焼楽群　AEON　社会福祉法人FIG福祉会　FMちゅーピー　キーレックス　グランドプリンスホテル広島　合人社グループ　サタケ　サッポロビール　サンポール　JT広島支社　資生堂ジャパン　ジャストホーム　食協　住友生命 広島支社　巣守金属工業　中国電力　中国放送　中電技術コンサルタント
中電工　ちゅピCOM　テレビ新広島　NISIKIタクシー　にしき堂　ひろぎんホールディングス　広島エフエム放送　広島ガス　広島県信用組合　広島市信用組合　広島信用金庫　広島テレビ放送　広島ホームテレビ　マツダ　三井不動産リアルティ中国　モデルナ　もみじ銀行　4℃ホールディングス
順不同